

# FUTURE OF PAYMENTS

日本における決済の習慣、嗜好、決済に対する分析



## デジタル決済の動向

**47%** 過去1年間に少なくとも1種類以上のデジタル決済手段の利用が増加した消費者の割合

過去1年間にデジタル決済を利用した消費者の割合

**98%** 最も多い - 中国

**70%** 最も少ない - 日本



過去1年で利用が増加した新しい決済手段

- 1 QR決済 **53%**
- 2 デジタルウォレット **44%**
- 3 バイオメトリクス **31%**

過去1年間で現金の利用が減少した消費者の割合 **35%**

## バイオメトリクス(生体認証)

バイオメトリクスは利便性と安全性で他の追随を許さないものの、プライバシーに対する懸念が残る

**51%** バイオメトリクスは暗証番号やパスワードを覚えるより簡単である、と回答した消費者の割合

同時に **47%** の消費者が二段階認証よりも安全だと感じている

**37%** の消費者は、時間を節約するために生体データを提供することに抵抗を感じないと回答

**29%** の消費者は、過去1年間に少なくとも1回の買い物でバイオメトリクスを利用した



## 後払い決済BNPL (BUY NOW PAY LATER)

**57%** はBNPLについて知っているが、使用にあたり不安があり、確立された組織のサービスが好まれる

BNPLを安心して使用できると回答した消費者の割合

**74%** 最も多い - 中国

**19%** 最も少ない - 日本



後払い決済BNPLを使う理由トップ3:

- 1 **37%** 低金利または金利0%
- 2 **30%** 先延ばしにしていた買い物ができるようになる
- 3 **27%** 買い物のために節約する時や予算をたてる時に便利

**40%** 大手決済ネットワークより支えられたBNPLソリューションの方がより安心して感じている消費者の割合

## 暗号通貨

幅広く認知されているが、深い理解がない人が多い

**68%** 暗号通貨、ステーブルコイン、CBDC(中央銀行デジタル通貨)、NFTのようなデジタル資産の貨幣価値に懐疑的な消費者の割合

**28%** 政府がデジタル資産業界を規制すべき、と考えている消費者の割合

**25%** の消費者は、信頼できる組織が発行または裏付けする暗号資産やデジタル通貨への投資がより安心できる

